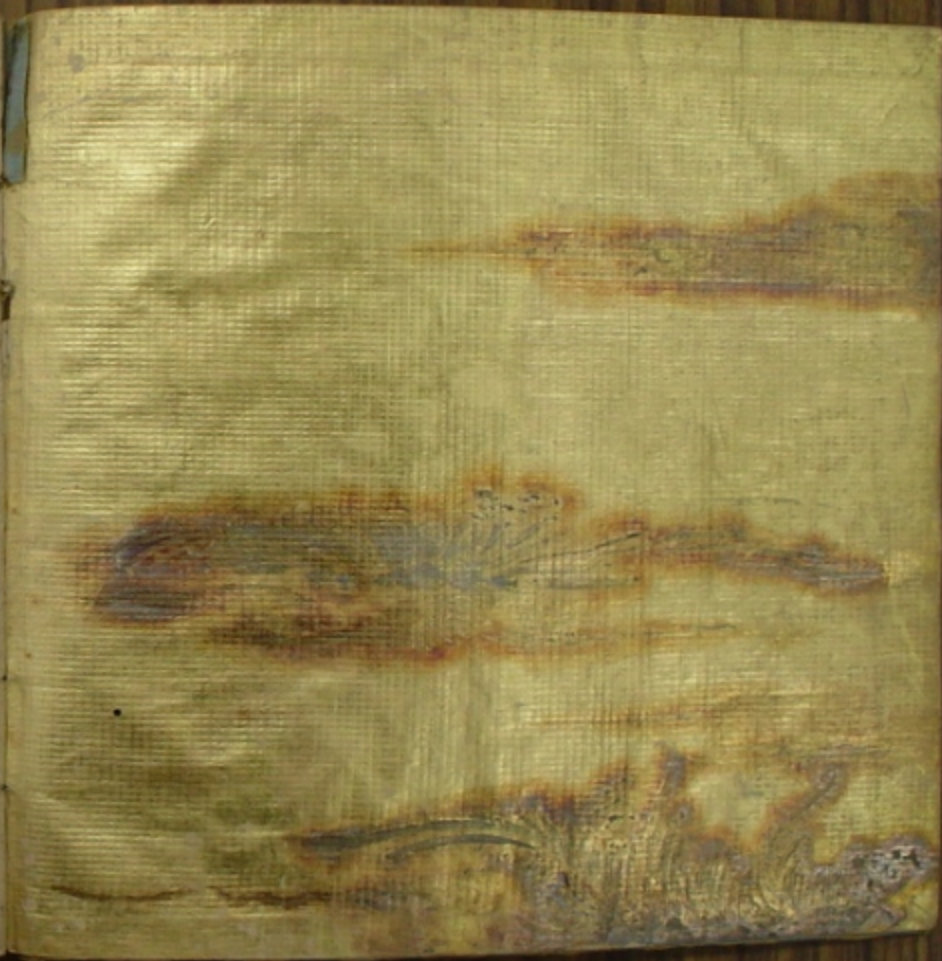
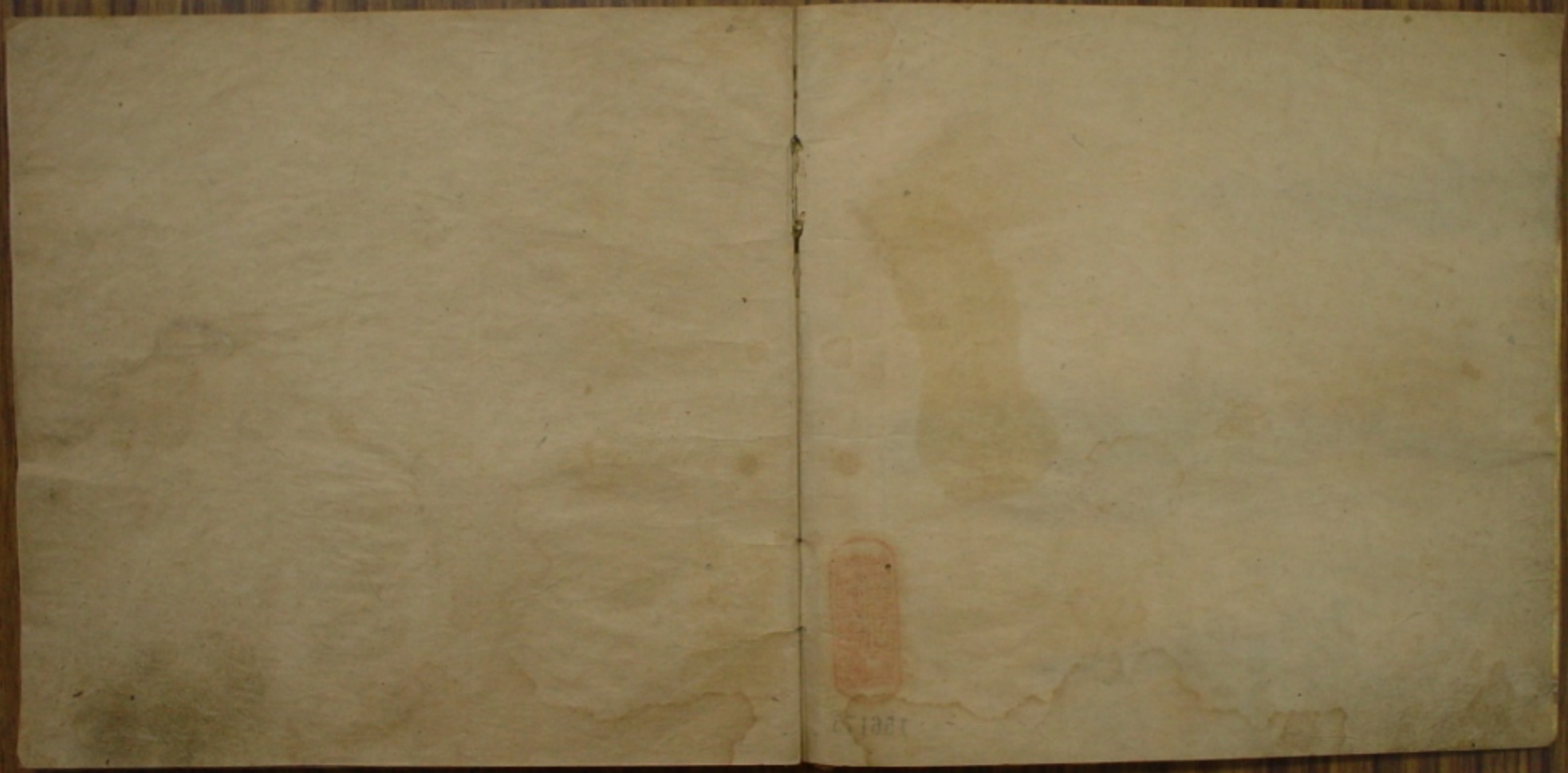


911.2
S

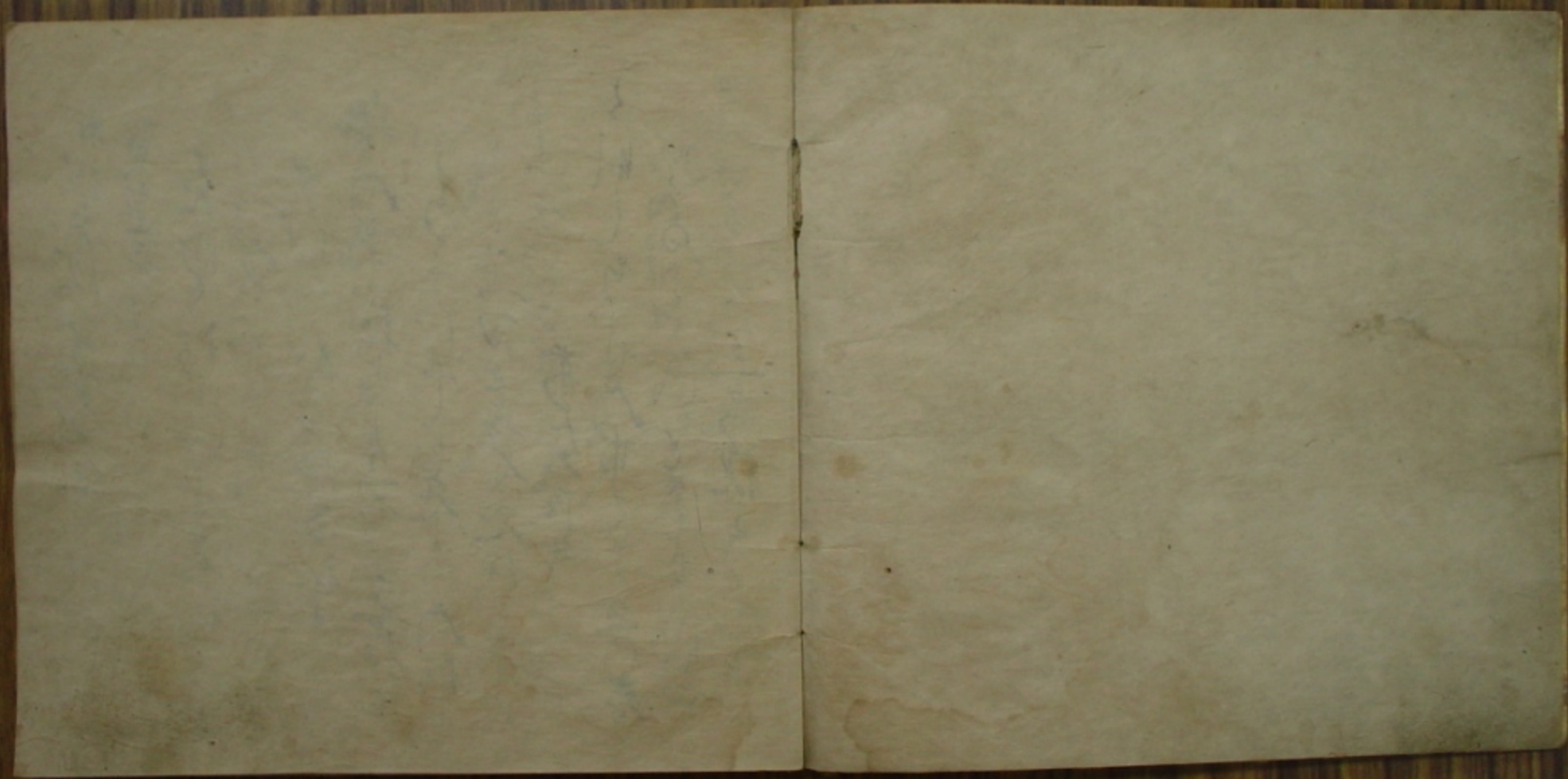


156175





1761



新撰虎頭集卷之七

賀正三行

花はくちもいそえりんと
よ白

或る邦を親と

しん葉は枯すなりとて世れ云
しん子しんしんもえりん松を
しんしんもえりん

前太右衛門

くれしんもえりんくすしの春
のゆきもいそえりん

三右親と

しんしんもえりん

らのゆきもえりん

しんしんもえりん

しんしんもえりん

君もえりん

湯川親

春の節會もえりん

しんしんもえりん

しんしんもえりん

しんしんもえりん

権入油言笑後

月よしのしづめのしづめのしづめ
あつねも風もあつねもあつねも

宗祇はゆ

あつねのあつねあつねあつねあつね
あつねあつねあつねあつねあつね

あつねあつねあつねあつねあつね

あつねあつねあつねあつねあつね
あつねあつねあつねあつねあつね

法眼す願

あつねあつねあつねあつねあつね
あつねあつねあつねあつねあつね
あつねあつねあつねあつねあつね
あつねあつねあつねあつねあつね
あつねあつねあつねあつねあつね

をしりやうらふともやわらふ

宗柳江印

わめゆきこよめぬこりの山
らん山をさす風
すまをさきまわりの世に
かゝるこころに花の山

源盛卿

まの代に漸くふり玉敷うて

長陽道平

まのりの文よ思ひのこころ

ゆえに

さういふ事なくいふ事なく
又いふ事なくいふ事なく

智蘊法師

もし小きくあつたればいふ事なく

さういふ事なくいふ事なく

智蘊法師

さういふ事なくいふ事なく

業の事なくいふ事なく

宗行法師

さういふ事なくいふ事なく

にさういふ事なくいふ事なく

宗行法師

とらねしとすしとく人しにん
りたりしとふとむるもま

権人傳記の跋

まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと

権人傳記の跋

まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと

権人傳記の跋

まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと

権人傳記の跋

まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと

権人傳記の跋

まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと

権人傳記の跋

まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと
まのめしとまのめしとまのめしと

増長三位教法

ほつとる。いふ人ふれし
かゝるとき。いふ人ふれし

ぬ流は師

の世の世に流もりのるふれ
いふ人ふれし

は服茶法

ういふぬ。世の人ふれし
ぬ流は師

常流は師

いふ人ふれし。いふ人ふれし
いふ人ふれし。いふ人ふれし

常流は師

いふ人ふれし。いふ人ふれし
いふ人ふれし。いふ人ふれし

常流は師

いふ人ふれし。いふ人ふれし
いふ人ふれし。いふ人ふれし

常流は師

いふ人ふれし。いふ人ふれし
いふ人ふれし。いふ人ふれし

常流は師

いふ人ふれし。いふ人ふれし
いふ人ふれし。いふ人ふれし

は下約物

うれいさくさーとたひいのりて
今一やうさうあまはせん

は眼淨縁

いまんとたひいろうつりてつー

沢いさーうとさうやしのか

臣一位敬忠

地ゆいーうらやの枯凡小

まううのりもつさ徳ゆ

御覧

めりさうさーとまのーめいさ

夕さあーるー突の末はく

うさよやけていじりにい下り中

或る邦の親と

恋一ここの梅もいとくやうりく
らうつなまゝやいよとる

法橋慈教

あつとも年へいひくまうり

あつとも年へいひくまうり

法眼すた

あつとも年へいひくまうり
くらの中いし行まうりけり

急ぎ過ぎ師

きつてくこく

そへいひるこいせしとて

源持知

あつり及し中り氣あへりく

ふりつらふのまふちりり

権又納言定隆

又つりあししきつらふと

そこのちぬきりりこまけりし

句當口侍

しかりけり人ふつとまて

はるふしりいんふり思ふ

前大僧正道真

そへ人ぬ人よけりすとれ

おんくもさうとていふこと

玄徳法師

おんくもさうとていふこと

恨めし人々

権人僧都の教

おんくもさうとていふこと

おんくもさうとていふこと

多分良政法師

おんくもさうとていふこと

おんくもさうとていふこと

長一住持

たのそとていふこと

人いりしゆりん此と二カマ

後三本全を前在在信

と打や抱しじも中しあしん

ありし心りおんしひふれき

後慶言全言亦言為政信

かしくときししうのひんし

しり何のしりつひんし

三本親ま

まもたし人ありしひんし

にりくししししししし

あ用ひ

まり言ししししししし

はひいししししししし

非常文法

人しりししししししし

人しりししししししし

毎言良政は朝臣

こぬししししししし

文的十一年三月日家て一

行の道言の恨しししし

意しし 慈照院今福を政信

をしりししししししし

つりふししししししし

或る邦を親ま

あつめり月うつほそゆい
よきし思ひのこし夕言ふ
源政春

しきくてもまこし月やうさ
ふしりく夕言ふの夜
能阿は師

しり地と花さつり
雲さく風し月さそり

宗阿は師

秋もすぬりゆく人ゆ
そらいしあぬ思ひ待さ

藤原雅俊

あつめり月うつほそゆい
よきし思ひのこし夕言ふ

平正頼

あつめり月うつほそゆい
よきし思ひのこし夕言ふ

権人常盤

あつめり月うつほそゆい
よきし思ひのこし夕言ふ

平政春

あつめり月うつほそゆい
よきし思ひのこし夕言ふ

法眼兼徳

そのしぢやうしんの人根深か
人いふ奴もや人いふじ

六原法師

わつこり笑じつしくほろけり

千鳥のききやれは文とこ

あつこりや人のまこ

青拍法師

まのつとていし抱いしと約保く

うへんまこと田のつとていし

常信行親と

福智とつらるる所いそぬぬく

月と風と小なまじしとす

前右大臣

さゆと人いふにんをゆて

しふきこととにりふとや

権人僧正日与

雲はつひをのこり約ひて

かきとて行めしかりとや

宗長法師

おひりりつとまふとてしつ

あつしとるのちとていし

宗御法師

抱きとて人いふとていし

らんりのちとていし

源友良

他く思ふぬ月... 人ね羨しく
こす... 了こ又うけく

前右大臣 実

男... といゆ人ぬわん... ぬ

今迄お右大臣

力と云て物... やん... いたん

文の書年三月家... 百約也

三つゆ... とい... 共の... こと

す... 意無院... 今... 右大臣

思ふ... 世小

Handwritten Japanese text on the left page, including characters such as 平, 立, 林, and 山.

Handwritten Japanese text on the right page, including characters such as 山, 立, 林, and 平.

もろぬきとて路

御筆

ふや...のぬきとて...
に...のぬきとて...

か...の後のせ...
も...のぬきとて...

権人増延心致

お...のぬきとて...
も...のぬきとて...

平章棟

き...のぬきとて...
も...のぬきとて...

たきよ人袖あはせり
宗純法師

他はくはたかむあはせり
宗純法師

友原正徳

海邊のあはせり
宗純法師

権律師美宗

なぐさまじあはせり
宗長法師

宗長法師

あはせり
宗長法師

権三法師
宗長法師

宗長法師

あはせり
宗長法師

宗長法師

あはせり
宗長法師

宗長法師

あはせり
宗長法師

宗長法師

あはせり
宗長法師

いふゆゑにわづらひしとすむ

藤原正統

うさしと名くしとてしれや
しやめらういづく海らりたを

あま良政弘明長

又いしうきしんわなわくし

あましんわなわくし

長一佐富子

あましんわなわくし

にきしゆく袖に千しありの

神後伯耆高

あましんわなわくし

めさけりしとていふはまきあふ
にきとていふはまきあふ

宗初に師

久つていふはまきあふ
のけりしとていふはまきあふ

法眼養正

あさひのけりしとていふはまきあふ
文明正の年、一月十五日之内書て
石清水の社に書ていふはまきあふ
すまのけりしとていふはまきあふ
書りしとていふはまきあふ

三十一日

とれはく油を煮る人たるはし
油より月ふるをせしう

馬一高在

たつてのつとりのつらみは
くんとつらみはつらみは
まはつらみはつらみは
つらみはつらみは

入道亦在右

かよめつらみはつらみは
つらみはつらみは
つらみはつらみは
つらみはつらみは

は橋高在

ぬいのせや油とあるはし

は眼ま頂

つらみはつらみは

新撰虎溪集卷第九

應永三年丁卯

にりくといひしやういひし

権人備後心教

をいし秘をよすそらり申せし

にりくといひしやういひし

源元教

あぬらよとつり申せしやういひし

にりくといひしやういひし

多念良持世羽后

ありくの後つらきやういひし

にりくといひしやういひし

宗長は師

又よきたりのつらきやういひし

にりくといひしやういひし

藤原宗光

とよき師のつらきやういひし

にりくといひしやういひし

宗長は師

とよき師のつらきやういひし

にりくといひしやういひし

源平右大臣

よき師のつらきやういひし

にりくといひしやういひし

後一位高子

このころにのちのころにわかれ
肥後の人とすむるなりきりし

源光隆朝長

あつてはかたしてに名なりし
しるすなりきりし

青拍は師

あつてはかたしてに名なりし

ついでにわかれなりきりし

武志と邦子親

あつてはかたしてに名なりし

ついでにわかれなりきりし

権入細言実隆

あつてはかたしてに名なりし

ついでにわかれなりきりし

宗初は師

あつてはかたしてに名なりし

ついでにわかれなりきりし

法眼は師

あつてはかたしてに名なりし

ついでにわかれなりきりし

は下助

あつてはかたしてに名なりし

ついでにわかれなりきりし

忠信は師

まふふにけりしものこころなりと
かもしちるあへし袖うぬわ

宗祇は師

ひらりめたるはしきしきし
おぬらじきくしものしり

は眼ま煩

とすわの人のまきまき
わらわのぬのこころしめ

藤原経俊後羽衣

せんふりりしものうぬわ
ゆふらういしはらねあ

師 智

とすもねんくちりやのみ
まのつらつちしあ

権中納言澄卿

ちとていし力しらひさうね
まねねのつらあ

智閑は師

とすまの人のしきく
あぬまねなすし

は眼ま煩

りらりしとくし
はらりしものま